

プロフィール



川上 明日夫氏
昭和15年満州(中国東北部)生まれ。昭和42年に詩集『哀が敷のように』を発表し、以後選詩集や詩画集を発表。また福井市の小中学校の校歌を作詞。平成11年には、詩集『蜻蛉座』で第39回中日詩賞受賞。現在、『日本現代詩人会』『日本詩人クラブ』『日本文藝家協会』会員、『日本現代詩歌文学館評議員』詩誌『木立ち』編集発行。



秋山 基夫氏
昭和7年岡山県生まれ。昭和40年に詩集『旅のオーナー』を発表し、以後10数冊の詩集をはじめ、評論集、朗読ライブCDなどを発表。平成13年には、詩集『十三人』で中四国詩人賞を受賞。現在、『日本現代詩人会』『中四国詩人会』『岡山県詩人協会』会員、『詩紙』『大朗読』『現代詩研究会・四土の会』所属。

選考委員は、次のかたがたです【50音順】
伊勢田史郎氏(詩人・郷土史家・NHK神戸文化センター講師) 杉山平一氏(詩人・映画評論家・帝塚山学院大学名誉教授) 安水稔和氏(詩人・前神戸松蔭女子学院大学教授)

「第16回富田碎花賞」に2氏受賞

受賞作 秋山基夫氏『家庭生活』 川上明日夫氏『夕陽魂』

問い合わせ 生涯学習課 緯38-2091

平成二年に詩人・富田碎花生誕百年を記念して創設した富田碎花賞は、今年も全国各地から百十名の詩集の応募がありました。

選考の結果、受賞作に岡山市の秋山基夫さんの『家庭生活』(思潮社)と福井市の川上明日夫さんの詩集『夕陽魂』(思潮社)の二冊が選ばれました。

秋山基夫さんの詩集『家庭生活』は、家庭生活の細部を詩と散文体を駆使して書きこみ、鮮やかに日常生活を多角的に現出させた、意欲的な詩集です。

川上明日夫さんの詩集『夕陽魂』は十篇の詩から成り、生と死の間の魂を風景によせて描き、独自の語彙と語法で、生と死の交差点を表現しています。

富田碎花賞の贈呈式

今回受賞されたお二人の「富田碎花賞」贈呈式は、下記のとおりです。

日時 11月12日(土)午後10時30分～
会場 市民センター401室
贈呈 正賞・賞状、副賞各25万円
記念講演 『森の世界から詩を考えると』
講師 詩人・時里二郎氏(富田碎花賞推薦委員)
申し込み 電話で生涯学習課へ
応募詩集は、富田碎花旧居で11月16日(水)から展示します。
富田碎花旧居は、毎週水曜日・日曜日に開館しています。

浜風夢保育園が開園しました

市立浜風小学校内保育施設が、10月1日に「浜風夢保育園」として新たにオープンしました。この保育園は、市が待機児童解消のため、本年6月に運営法人を募集し厳正な選考審査で選ばれた、社会福祉法人夢工房が運営する保育園です。浜風夢保育園では、通常の保育以外に延長保育・一時保育・統合(障がい児)保育・子育て支援子育てに関する相談など多くの事業を計画しています。

今なら浜風夢保育園に入園できます
浜風夢保育園は3歳児から5歳児までの60人定員で開園し、10月1日現在で22人(3歳児13人、4歳児8人、5歳児1人)が入園しています。現在、入所条件が合えば浜風夢保育園に入園できます。

問い合わせ ことども課保育所入所担当 緯38-2045

第6回あしや花と緑のコンクール受賞者が決定しました

「あしや花と緑のコンクール」を募集したところ、ご自宅の庭やベランダ、地域花壇の写真42件の応募があり、次の作品が受賞しました。

今回から、「市長賞」を新設。

10月16日(日)、市民センターで表彰式が行われました。

【受賞者】市長賞…伊藤郁子さん(業平町)/1位…東山町自治会美化推進「花づくり」部会(東山町)/2位…アステム芦屋A棟管理組合(若葉町)/3位…多木万壽雄さん・玉江さん(松浜町)/入賞…ベル薔薇クラブ(浜町) 芦屋ハイタウン管理組合緑化委員会(大東町) 木村伊都子さん(打出小樋町) 岩園幼稚園(岩園町) 伊勢幼稚園(伊勢町)の皆さんです。

問い合わせ あしや花と緑の会事務局(みどりの課内) 緯38-2103

11月 テレビ 広報ガイド

芦屋市広報番組 あしや30	アーチャー min.	放送時間(30分)
芦屋市政キララ	第2次芦屋市環境計画	8:00
広報トピックス	第17回あしや秋まつり・だんじり巡行	11:30
芦屋の中のパキスタン	カーン・マズド・アクタールさん	16:00
ミニ特集	ご利用ください! 芦屋市総合公園	19:30
市民の時間	エッセイを書いてみよう	22:30

ビデオテープ貸出可

11月は、「J」COMスペシャルデー(従来のプレビューデー)はありません。番組に関する問い合わせ 広報課 緯38-2006 CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネットワーク神戸芦屋(J:COM)カスタマーズセンター 緯0120-13-8160

公民館音楽会 名曲コンサート

日時 11月26日(土)午後1時30分～3時
会場 市民センター音楽室 出演 木村みお(バイオリン)、岡尾有紀(チェロ)、四本美紀子(ピアノ) 曲目 チゴイネルワイゼン/ハンガリー舞曲第6番/日本のうたほか 参加費 500円 申し込み 往復はがきに参加者の氏名・住所・電話番号を記入、11月10日(木)までに下記へ。

問い合わせ 公民館 緯35-0700 (〒659-0068 業平町8-24)

劇団ふるさときゃらばん公演 ミュージカルみちづしん 「カントリーチャレンジャー」

日時 11月21日(月)午後6時30分(開場6時) 会場 ルナ・ホール 対象 小学生以上 定員 600人招待 申し込み 11月7日(月)<消印有効>までに、阪神国道事務所ホームページ(<http://www.kkr.mlit.go.jp/hanshin/>) 往復はがきに、住所・電話、希望者全員4人まで可。小学生は保護者同伴の氏名・年齢を明記し、劇団ふるさときゃらばん「カントリーチャレンジャー」芦屋公演事務局(〒184-8577 東京都小金井市市本町6-5-3)へ。

問い合わせ 建設部総務課 緯38-2070

第56回 童美展 出品作品募集

搬入・審査日 11月29日(火)午後10時～正午、午後1時～3時*搬入と同時に審査。選外作品は持ち帰り 会期 12月3日～11日(入館無料) 対象 小学校就学前の幼児 出品手数料 1点につき100円 作品 平面・立体1人3点以内 縦横2m以内で未発表のもの 立体作品は運搬途中で壊れないようにしっかりと仕上げてください 共同作品は受付不可 応募方法 指定の募集要項に必要事項を記入し、出品料・作品とともに当日美術博物館へ。

問い合わせ 美術博物館 緯38-5432(〒659-0052 伊勢町12-25)

第1回 シネザロン モナリザの秘密

日時 11月20日(日)午後1時30分～ 会場 美術博物館講義室 定員 中学生以上50人(多数の場合抽選) 申し込み 往復はがきに、住所・氏名(2人まで)電話番号を明記し、11月10日(日)必着までに下記へ。

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 緯23-5852

白バラ だより

衆議院選挙の後の、高齢のかたの会話です。A「あなたは、これまで投票に行かないことを自慢していたけど、今回はどうしたの?」 B「うん、このたびは投票したよ。挙げてたね」 A「なんで投票する気になったの?」 B「参議院という政党に法案の否決で、衆議院解散という事になり、ついに今年7月4日の参議院選挙がある。今回の投票率は昭和二十七年の七十四%、平成二年の七十一%に次ぐ七〇%なんだって。とにかく話題性の多い選挙だね」 A「結局、有権者が選挙に目覚めて投票をしたことは良かったのでは?」 B「それはそれでいいけど、郵政ばかりで、外交・年金・国の赤字財政問題などが争点にならなかつたでしょ。だから、今後は投じた一票の重みをよく見守る責任が、あなたにもあるんですよ!」

問い合わせ 選挙管理委員会 緯38-2100



旧市庁舎前での祝賀行事

昭和15年11月10日、この日は紀元2600年の祝賀行事が全国的に繰り広げられ、芦屋市では市制施行とあわせて、提灯行列・旗行列などがいちだんと盛大に行われました。

芦屋市 略年表(昭和15年～44年)

- 昭和15年 1940
- 4月 県立芦屋中学校開校
- 11月 精道村から芦屋へ(市制施行)
- 昭和20年 1945
- 8月 4回目の空襲で、最大の被害を被る
- 昭和22年 1947
- 4月 市立精道中学校・山手中学校開校
- 昭和23年 1948
- 6月 第1回芦屋市展開催
- 7月 市営芦屋海水浴場開設
- 12月 第1回童美展開催
- 昭和24年 1949
- 5月 市立図書館開館
- 8月 広報あしや創刊号発行
- 昭和25年 1950
- 9月 ジェーン台風
- 10月 芦屋市消防本部設置
- 12月 芦屋市教育委員会設置
- 昭和26年 1951
- 3月 芦屋国際文化住宅都市建設法公布
- 昭和27年 1952
- 7月 芦屋病院診療開始
- 昭和28年 1953
- 3月 芦屋市公園開設
- 昭和29年 1954
- 4月 市立公民館開館
- 昭和31年 1956
- 10月 第11回国体(テニス・ピストル競技)
- 昭和35年 1960
- 8月 現市庁舎落成
- 昭和36年 1961
- 5月 合衆国モンテペロ市と姉妹都市提携
- 9月 芦有道路開通
- 9月 第2室戸台風
- 昭和37年 1962
- 3月 安全都市宣言
- 4月 市立芦屋高校開校
- 8月 新消防庁舎落成
- 昭和38年 1963
- 4月 甲南中学・高校、朝日ヶ丘町へ移転
- 10月 市立芦屋病院本館落成
- 10月 第2阪神国道(国道43号)開通
- 12月 市民会館完成(仏教会館から公民館も移転)
- 昭和39年 1964
- 4月 芦屋市創設
- 5月 市民憲章制定・市旗制定
- 5月 市立青少年センター開設
- 昭和40年 1965
- 10月 養護老人ホーム「和風園」開園
- 昭和41年 1966
- 7月 市民プール(朝日ヶ丘町)開設
- 昭和42年 1967
- 11月 市民文化賞制定
- 昭和43年 1968
- 7月 青少年野外活動センター開設

芦屋市 65年のあゆみ

問い合わせ 広報課 緯38-2006



市花: コバノミツバツツジ

11月10日は、芦屋市の市制記念日です。昭和15年に全国で173番目の市として誕生して、今年で65年を迎えます。この間、戦災や戦後のジェーン台風被害からの復興をはじめ、「国際文化住宅都市建設法」の公布などにより、交通・産業・教育・文化・福祉面等の復興・充実を図ってきました。さらに市民生活の向上を図り、より快適な都市整備をまい進していた平成7年1月17日、今度は、あの阪神・淡路大震災によって、またも本市は壊滅的な被害を被ったのです。…それから10年、市はいま市民の皆さんとともに、確かな明日への一歩を歩き始めようとしています。



市木: クロマツ

「芦屋のうつりかわり」頒布しています

市制50周年記念に市が編集・発行した写真集「芦屋のうつりかわり」の在庫本を、市役所北館1階行政情報コーナー、ラポルテ市民サービスコーナーで頒布しています。

頒布額 500円 (発行当時1,000円)

「芦屋のうつりかわり」
21.6×30.5cm
135ページ
紙表紙・銀箔押し
(ハードカバー)



市章

この市章は、大正11年に懸賞募集によって制定された精道村の村章を、そのまま引き継いだものです。

由来は「山を負い海に臨む風光明媚の地にして、芦屋・打出・三条・津町の4カ村から成り、円満・平和にして隆々として発展の勢いあり、即ち山・海・四・円平・旭を図示す」とされています。

(昭和45年～51年) (昭和52年～63年) (平成元年～6年)



市民会館とルナ・ホール(昭和45年)

- 昭和45年 1970
- 2月 阪神高速道路神戸線開通
- 4月 ルナ・ホール開場
- 10月 市の木「クロマツ」・市の花「コバノミツバツツジ」制定
- 昭和46年 1971
- 3月 芦屋市総合計画策定
- 4月 奥池貯水池(第2奥池)完成
- 4月 健康センター開設
- 昭和47年 1972
- 4月 市立朝日ヶ丘小学校開校
- 7月 体育館・青少年センター開館
- 昭和48年 1973
- 4月 緑ゆたかな美しいまちづくり条例制定
- 昭和49年 1974
- 3月 旧山邑邸 国の重要文化財に指定
- 7月 下水終末処理場通水開始
- 昭和50年 1975
- 1月 ラポルテ市民サービスコーナー開設
- 7月 新図書館開館
- 昭和63年 1988
- 4月 第1回さくらまつり開催
- 10月 谷崎潤一郎記念館開館



国鉄芦屋駅前再開発事業「ラポルテ」完成(昭和61年)

- 昭和52年 1977
- 7月 環境処理センター完成
- 昭和53年 1978
- 4月 市立三奈小学校開校
- 昭和54年 1979
- 3月 芦屋浜住宅団地入居開始
- 4月 市立潮見小学校・潮見中学校開校
- 県立芦屋南高等学校開校
- 8月 第1回サマーカーニバル開催
- 昭和57年 1982
- 4月 市立打出浜小学校・浜風小学校開校
- 昭和58年 1983
- 11月 国鉄芦屋駅北地区「アルバ芦屋」完成
- 昭和61年 1986
- 3月 芦屋市新総合計画策定
- 11月 国鉄芦屋駅北地区「ラポルテ」完成
- 昭和62年 1987
- 1月 ラポルテ市民サービスコーナー開設
- 7月 新図書館開館
- 昭和63年 1988
- 4月 第1回さくらまつり開催
- 10月 谷崎潤一郎記念館開館



桜・山邑邸と芦屋川(平成6年撮影)

- 平成元年 1989
- 6月 国鉄芦屋駅北地区「ラリーブ」完成
- 10月 第1回あしや秋まつり開催
- 平成2年 1990<市制施行50周年>
- 3月 C A T V開局
- 10月 第1回富田碎花賞受賞式
- 11月 市庁舎南館完成
- 平成3年 1991
- 3月 芦屋美術博物館オープン
- 平成4年 1992
- 4月 芦屋ハートフル福祉公社事業開始
- 5月 芦屋市子育てセンター開設
- 10月 ラポルテ東館竣工
- 平成5年 1993
- 4月 芦屋市国際交流協会発足
- 6月 毎土曜日の市役所閉庁スタート
- 8月 第1回ドラゴンボートレース開催
- 11月 第1回地球家族会議開催
- 平成6年 1994
- 4月 沖ノ池緑地開園
- 8月 市立女性センター開設
- 9月 ラポルテ北館竣工



まちづくりの進む芦屋浜(平成17年7月28日撮影)

芦屋市 略年表(平成7年～17年)

- 平成7年 1995
- 1月 阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を被る
- 1月 災害対策本部・震災復興本部設置
- 3月 芦屋市復興計画検討委員会設置
- 3月 芦屋市震災復興緊急整備条例を制定
- 8月 震災復興計画基本計画を策定
- 12月 あしや温泉オープン
- 平成8年 1996
- 1月 阪神・淡路大震災芦屋市犠牲者合同追悼式
- 2月 新環境処理センター完成
- 4月 山手緑地完成
- 4月 「芦屋市行政改革大綱」策定
- 6月 芦屋中央線(浜川町)開通
- 9月 市役所庁舎北館で執務再開
- 平成9年 1997
- 1月 芦屋都市整備公社設立
- 7月 市民センター、ルナ・ホール再開
- 10月 通称「ボイ捨て禁止条例」制定
- 10月 体育館・青少年センター再開
- 平成10年 1998
- 3月 南芦屋浜北部地区まちびらき
- 4月 南芦屋浜復興住宅(市・県営)入居開始
- 平成11年 1999
- 3月 市立山手幼稚園開園・市立三奈小学校開校
- 3月 芦屋公園テニスコート再開
- 平成12年 2000<市制施行60周年>
- 3月 第1回芦屋国際俳句祭
- 4月 介護保険制度スタート
- 8月 市立山手小学校新校舎完成
- 12月 「第3次総合計画基本構想」可決
- 12月 市内24道路の「愛称」決定
- 12月 「芦屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」制定
- 平成13年 2001
- 3月 若宮地区災害復興環境整備事業完了
- 3月 川西線(西芦屋町内区)完成
- 4月 南芦屋浜下水処理場(ウォーターパーク)供用開始
- 4月 第3次行政改革スタート
- 平成14年 2002
- 3月 芦屋キャナルパーク完成
- 4月 中央地区震災復興土地区画整理事業完了
- 8月 住民基本台帳ネットワークシステム開始
- 平成15年 2003
- 5月 総合公園一部オープン
- 5月 西部第1地区震災復興土地区画整理事業完了
- 平成16年 2004
- 1月 「芦屋庭園都市」を宣言
- 4月 総合公園完成
- 平成17年 2005<市制施行65周年>
- 1月 阪神・淡路大震災10周年追悼行事開催
- 1月 1.17あしやフェニックス基金設立
- 2月 西部第2地区震災復興土地区画整理事業完了
- 3月 潮芦屋げんき足湯オープン
- 3月 「芦屋都市計画マスタープラン」策定
- 4月 親水西公園、親水・潮芦屋緑地、潮芦屋ビーチ完成
- 8月 のじぎく国体カヌー競技リハーサル大会
- 9月 同ピストル競技リハーサル大会開催
- 10-11月 市立精道小学校建替第1期工事完了